

**「移動系通信事業者が提供するインターネット接続サービスの実効速度計測手法
及び利用者への情報提供手法等に関するガイドライン」の改正について**

**令和8年10月26日
総務省**

- 平成25年当時、広告や販売勧誘の際に示される最大通信速度（ベストエフォート）の表示は、必ずしも利用者が実際に期待する通信速度を踏まえている状況ではなく、また、事業者やメディア等により独自の調査結果が公表されていたが、基準にばらつきがあり、事業者間の通信速度の比較が困難な状況となっていた。
- 平成27年7月、利用者が適切な情報に基づいて契約可能な環境を整備するため、「インターネットのサービス品質計測等の在り方に関する研究会」が設置され、「移動系通信事業者が提供するインターネット接続サービスの実効速度計測手法及び利用者への情報提供手法等に関するガイドライン」（以降「モバイル実効速度ガイドライン」）が策定された。
- 平成28年3月、電気通信事業法の消費者保護ルールに関するガイドライン（以降「消費者保護ガイドライン」）が策定され、モバイル実効速度ガイドラインに基づき集計された計測値を契約前に紹介することが望ましい旨が記載された。

○電気通信事業法施行規則

（提供条件の説明）

第二十二條の二の三

一～二 略

三 提供される電気通信役務の内容（次に掲げる事項を含む。）

イ～ロ 略

ハ 品質

ニ～ト

○消費者保護ガイドライン（平成28年3月策定、令和8年5月最終改正）

第2章 契約前の説明義務

第2節 基本説明事項

（5）電気通信役務の内容（第3号）

③ 品質（第3号ハ）

（略）消費者がベストエフォート型サービスの内容を十分に理解することができるよう配慮する必要がある。さらに、「移動系通信事業者が提供するインターネット接続サービスの実効速度計測手法及び利用者への情報提供手法等に関するガイドライン」（平成27年（2015年）7月総務省公表）又は「固定ブロードバンドサービスの品質測定手法等に関するガイドライン」（令和6年（2024年）9月総務省公表）に基づき実効速度の計測を実施し、集計された計測値についても紹介することが望ましい。

実効速度計測の現状及びガイドライン改正

- モバイル実効速度ガイドラインの策定以来、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクの3社が実効速度の計測を毎年度実施し、計測結果について、各社HPや総合カタログで表示している（ご参考：次頁以降のスライド）。
- 実効速度の計測に関する中立性を担保するため、電気通信サービス向上推進協議会※の実効速度適正化委員会において、毎年度の計測結果等が報告されているほか、具体的な計測手順や各社HPでの表示方法等について助言がなされている。
- 今般、実効速度適正化委員会において、**事業者の負担軽減を含めた速度計測の継続的な実施を確保する観点から議論された結果、計測結果の信頼性を低下させない範囲で、計測地点数を一定程度削減することが可能である**ことが技術的に確認された。
- 当該検証結果を踏まえた、モバイル実効速度ガイドラインの改正について、消費者保護の観点等からご意見賜りたい。

※電気通信4団体（(一社)電気通信事業者協会、(一社)テレコムサービス協会、(一社)日本インターネットプロバイダー協会、(一社)日本ケーブルテレビ連盟）により構成される任意団体。利用者サービス向上策の検討や、広告表示に関する自主基準の策定・運用等を実施。

電気通信サービス向上推進協議会

電気通信事業者協会 テレコムサービス協会 日本インターネットプロバイダー協会 日本ケーブルテレビ連盟

広告表示関係

広告表示アドバイザー委員会

主要広告事案に関する監督・助言

広告表示検討部会

- ・主要広告事案に関する自主検証（1次審査）
- ・広告表示に関する検討

広告表示適正化WG

- ・広告表示自主基準GLの策定
- ・用語の統一や表記基準等の検討

その他

事故対応検討WG

- ・事故に関するガイドライン等の検討

実効速度関係

実効速度適正化委員会

- ・モバイル測定に関する監督・助言
- ・固定ブロードバンド測定に関する監督・助言

モバイル実効速度関係

実効速度適正化グループ

- モバイルの測定事業者の集まり
- 検討事項
- ・測定の実務のルールに関すること
- ・広告表示に関すること
- ・その他、モバイルの測定に関すること

固定ブロードバンド実効速度関係

固定ブロードバンド実効速度適正化WG

- 固定ブロードバンドの測定事業者の集まり
- 検討事項
- ・測定の実務のルール
- ・広告表示に関すること
- ・その他、固定ブロードバンドの測定に関すること

実効速度適正化WG

- 通信4団体と通信事業者の集まり
- 委員会への検討内容の提案
- 検討事項
- ・MVNO実効速度適正化ガイドラインの策定
- ・測定方法や表記に関する検討

【実効速度適正化委員会構成員】

委員氏名	所属（令和8年10月時点）
廣松 毅 （委員長）	東京大学 名誉教授
平野 晋 （委員長代理）	中央大学 国際情報教授
北 俊一	(株)野村総合研究所 コンサルティング事業本部 シニアパートナー
福田 健介	国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系 准教授
西村 真由美	公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表
花岡 隆春	広告表示適正化WG 主査
見戸 直樹	実効速度適正化委員会 速度計測G 主査

- モバイル実効速度ガイドラインに基づき、各社が実効速度を計測し、HPに掲載。

○NTTドコモ (Android)

Android™の実効速度（下り）：56Mbps～351Mbps

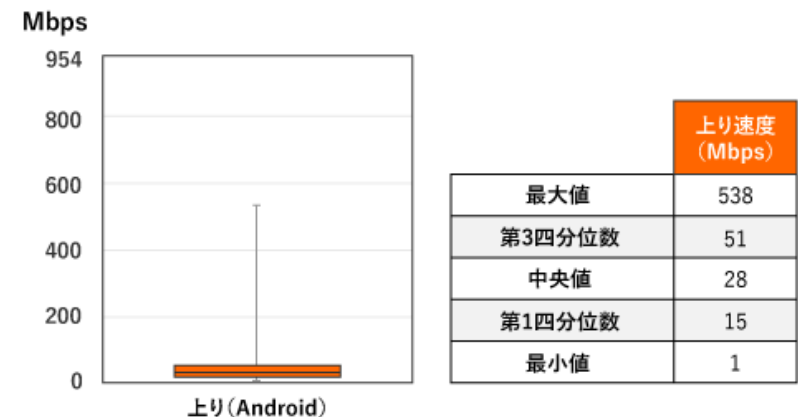
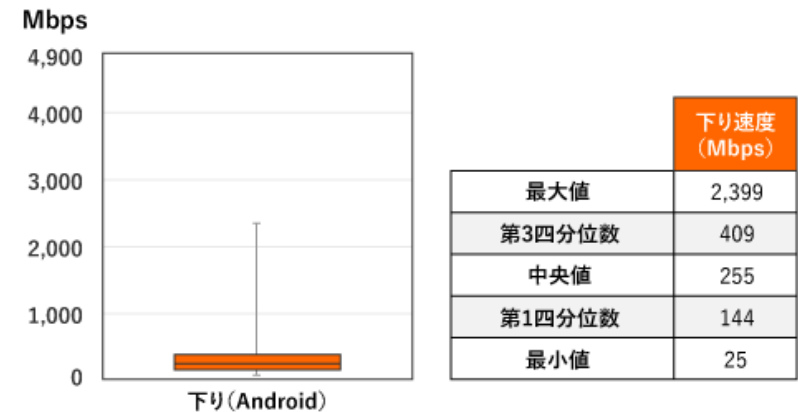


Android™の実効速度（上り）：10Mbps～32Mbps



○KDDI (Android)

〔箱ひげ図〕



※各社HPより引用

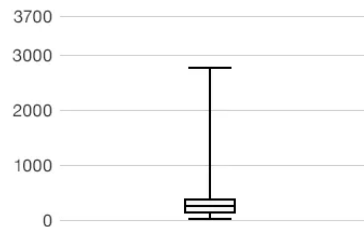
(NTTドコモ：https://www.docomo.ne.jp/area/effective_speed/)

KDDI：<https://www.au.com/mobile/area/effective-speed/>)

- モバイル実効速度ガイドラインに基づき、各社が実効速度を計測し、HPに掲載。

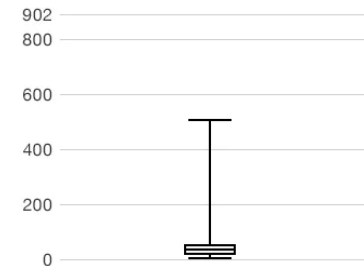
○ソフトバンク (Android)

【下り速度 (Mbps)】



	下り速度 (Mbps)
最大値	2,790
第3四分位数	395
中央値	270
第1四分位数	131
最小値	25

【上り速度 (Mbps)】



	上り速度 (Mbps)
最大値	555
第3四分位数	44
中央値	29
第1四分位数	17
最小値	2

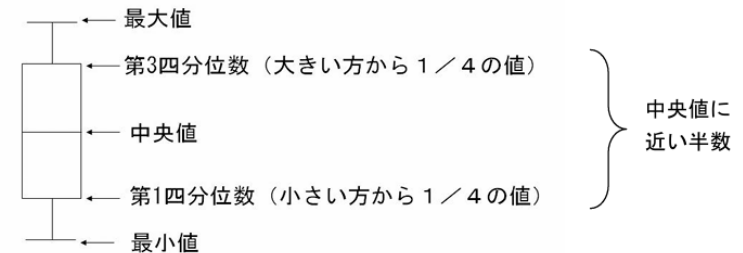
※各社HPより引用
(ソフトバンク: <https://www.softbank.jp/mobile/network/service/speed-survey/>)

ガイドライン上での記載

(2) 集計表示手法

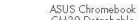
計測結果の集計表示手法として「箱ひげ図」を活用する。「箱ひげ図」は、ばらつきのあるデータを分かりやすく表現するための統計学的グラフであり、重要な5種の要約統計量である、最小値、第1四分位数、中央値、第3四分位数及び最大値とともに、下図のように表示される。

今般の計測手法では、計測された全国の全データ (10 都市約 300 メッシュ×5 地点=約 1500 か所) の第1四分位数 (小さい方から 1/4 の値) に当たる速度 (Mbps 単位) から、第3四分位数 (大きい方から 1/4 の値) に当たる速度 (Mbps 単位) を、実効速度の一定幅 (中央値に近い半数) を持った値として表示する。



【箱ひげ図】

なお、「箱ひげ図」を用いた本集計表示手法は、現時点では最も適切な表現手法と考えられるものの、将来、利用者にとって一層分かりやすく、かつ、統計学的にも適切な手法が提示される場合には、必要な検討等を経て代替可能とする。



※ahamoの対応機種については「ahamoのホームページ」でご確認ください。

※商品の販売価格は店舗ごとに異なります。詳しくはドコ平ショップ/d gardenなど販売店におたずねください。

実効速度測定値の記載 (KDDI: モバイル料金カタログ 2026 vol3)

豊富な ラインナップから 機能比較して、 自分にピッタリの モデルを選ぼう。		NEW Google Pixel 10a  		au Starlink Direct 155 Samsung Galaxy S24 Ultra  		au Starlink Direct 155 Samsung Galaxy S24  		au Starlink Direct 155 Samsung Galaxy S24+  		NEW Xperia 1 VIII  		au Starlink Direct 155 Xperia 10 VII  		au Starlink Direct 155 OPPO Find X9  		au Starlink Direct 155 OPPO A5 5G  		au Starlink Direct 155 AQUOS sense10  		au Starlink Direct 155 TORQUE G07  		au Starlink Direct 155 Samsung Galaxy A25 5G  		au Starlink Direct 155 BASIO active3  		らくらくスマートフォン Lite  		かんたんケータイ ライト KYT43  	
接続端子:USB Type-C																													
サイズ:幅×高さ×厚さ(mm)		約73.0×153.9 ×9.0		約78×164 ×7.9		約72×150 ×7.2		約76×158 ×7.3		約74×162 ×8.3		約72×153 ×8.3		約74×157 ×8.0		約76×166 ×8.0		約73×149 ×8.9		約75×157 ×14.6		約78×168 ×8.5		約73×162 ×9.3		約73×162 ×9.0		約51×115 ×18.3	
重量(g)		約183		約214		約167		約190		約200		約168		約203		約194		約166		約243		約210		約188		約185		約133	
バッテリー容量(mAh)		5,100		5,000		4,300		4,900		5,000		5,000		7,025		6,000		5,000		4,585		5,000		4,500		4,500		1,500	
画面サイズ	サイズ(インチ)	約6.3		約6.9		約6.3		約6.7		約6.5		約6.1		約6.6		約6.7		約6.1		約5.4		約6.7		約6.1		約6.1		約3.4	
	解像度(ピクセル数)	FHD+ 2,424×1,080		Quad HD+ 3,120×1,440		FHD+ 2,340×1,080		Quad HD+ 3,120×1,440		FHD+ 2,340×1,080		FHD+ 2,340×1,080		FHD+ 2,760×1,256		HD+ 1,604×720		FHD+ 2,340×1,080		FHD+ 2,160×1,080		HD+ 1,600×720		HD+ 1,560×720		HD+ 1,560×720		FWVGA 854×480	
カメラ	有効画素数 メイン/サブ(イン)	約4,800万+ 約1,300万/ 約1,300万		約5,000万+ 約2,000万/ 約5,000万/ 約1,200万		約1,200万+ 約5,000万/ 約1,000万/ 約1,200万		約1,200万+ 約5,000万/ 約1,000万/ 約1,200万		約4,800万*1+ 約4,800万*1+ 約1,000万*1/ 約1,200万		約5,000万*2+ 約1,300万*2/ 約800万		約5,000万+ 約5,000万+ 約2,000万/ 約3,200万		約5,000万+ 約5,000万+ 約200万/ 約800万		約5,030万+ 約5,030万/ 約3,200万		約5,000万+ 約5,000万+ 約500万/ 約800万		約5,000万+ 約2,000万/ 約500万		約5,000万+ 約2,000万/ 約800万		約5,010万/ 約800万/ 約800万		約800万/ —	
	SIM	nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM/ eSIM		nanoSIM	
内蔵メモリ容量*1 RAM/ROM		8GB/ 128GB 256GB		12GB/ 256GB 512GB 16GB/1TB		12GB/ 256GB 512GB		12GB/ 256GB		12GB/ 256GB		8GB/ 128GB		16GB/ 512GB		4GB/ 128GB		6GB/ 128GB		8GB/ 128GB		4GB/ 64GB		4GB/ 64GB		4GB/ 64GB		1GB/ 8GB	
通信方式		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		5G*3*4 (sub6) 4G LTE WiMAX 2+ au Starlink Direct		4G LTE	
最大通信速度(受信時/送信時)		3.9Gbps*5/ 252Mbps*5		6.7Gbps*5/ 254Mbps*5		4.5Gbps*5/ 252Mbps*5		4.5Gbps*5/ 252Mbps*5		6.7Gbps*5/ 211Mbps*5		2.4Gbps*5/ 211Mbps*5		4.4Gbps*5/ 252Mbps*5		2.4Gbps*5/ 211Mbps*5		2.4Gbps*5/ 211Mbps*5		3.5Gbps*5/ 211Mbps*5		2.4Gbps*5/ 211Mbps*5		2.2Gbps*5/ 211Mbps*5		2.1Gbps*5/ 211Mbps*5		150Mbps*5/ 50Mbps*5	
OS		Android™ 16		Android™ 16		Android™ 16		Android™ 16		Android™ 16		Android™ 15		Android™ 16		Android™ 15		Android™ 16		Android™ 16		Android™ 15		Android™ 14		Android™ 14		—	
おサイフケータイ*2		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		—	
生体認証		指紋/顔		指紋/顔		指紋/顔		指紋/顔		指紋		指紋		指紋/顔		指紋/顔		指紋/顔		指紋/顔		指紋/顔		指紋/顔		指紋/顔		—	
上:防水 下:防塵		IPX8 IP6X		IPX5/8 IP6X		IPX5/8 IP6X		IPX5/8 IP6X		IPX5/8 IP6X		IPX5/8 IP6X		IPX8/9 IP6X		IPX5 IP6X		IPX5/8 IP6X		IPX5/8/9 IP6X		IPX5/8 IP6X		IPX5/8 IP6X		IPX5/8 IP6X		IPX5/8 IP5X	
ワイヤレス充電(QI)		●		●		●		●		●		—		●*7		—		—		●		—		—		—		—	
同梱品(◆:試供品)		充電ケーブル◆		5ペン SIM取り出し ツール◆/ USBケーブル ◆		SIM取り出し ツール◆/ USBケーブル (CtoC)◆		SIM取り出し ツール◆/ USBケーブル (CtoC)◆		—		—		◆*3		◆*3		◆*3		◆*3		SIM取り出し用 ピン◆		かんたん マニュアル		かんたん ガイドブック		電池パック◆/ 卓上ホルダ◆	

[illegible]

※「実効速度」は、総務省が定めた「実効速度に関するガイドライン（概略）」（平成27年7月31日）に基づき算出した。全国10都市の受信速度のうち、中央値に近い平均がその範囲内であったことを示すのです。※10都市での測定結果のため、お住まいのご利用所・時間・通信環境により実際のご利用速度は異なります。※計測期間は2026年1月～3月です。※具体的な数値や測定機など、詳しくはauホームページでご確認ください。【<https://www.au.com/mobile/area/effective-speed/>】

[illegible]

モバイル実効速度の計測地点

- モバイル実効速度ガイドラインが規定する計測手法において、計測地点数は全国の合計で**約1,500地点**とされている。

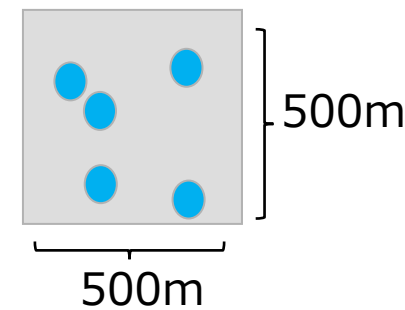
計測手法（条件・項目等）	
計測方式	調査員による実地調査
計測場所	約1,500地点（全国10都市合計約300メッシュ（1メッシュ：500m四方）とし、1メッシュあたり指定された5地点）
計測時間帯	「オフィス街・繁華街メッシュ」は正午から午後6時まで、「住宅街メッシュ」は午後3時から午後9時までの時間内とする。
計測回数	同一地点3回（同一地点の値としては3回の平均）
計測項目	上り／下りの実効速度（参照情報として位置・時間情報、通信規格（LTE等）、端末情報、信号強度、遅延、パケットロス）
計測頻度	少なくとも1年に1回以上。計測時期は各事業者が任意に設定。
計測端末	対応周波数、通信規格、OSが同一の機種ごと
計測ツール	米国FCCが公開する計測ソフト（スマートフォン等の携帯端末用）をベースに総務省が実証時に作成した計測ソフトを活用する。 ※計測サーバは主要な国内IXと直結し、IXとサーバの間が十分な帯域（1Gbps以上）で接続される場所（1カ所）で、計測サーバが混雑している場合は計測させない機能を設ける。
情報提供手法	計測された全国の全データの「箱ひげ図」の表示 全ての計測地点における個別の結果



東京を含む10都市を全国から選定



10都市の中から合計約300メッシュをランダムに選定



1メッシュについてランダムに5地点選定

合計約1,500地点で計測

1. 実効速度適正化委員会（電気通信サービス向上推進協議会）において、**本ガイドライン策定時に求めていた計測地点数（約1,500地点）よりも少ない地点数による計測であっても、従来と同等の結果が得られることが技術的に検証された**※ことを受け、計測結果に影響がないと判明した程度まで、**計測に必要とする地点数を削減**する。

※当該検証結果を踏まえると、消費者へ与える影響としては特段の変化はなく、消費者保護の観点から問題ないものと考えられる。

<ガイドラインにおける主な修正箇所>

2 計測手法

（2）計測条件及び計測項目

① 計測場所

（iv） 上記により計測地点数については、10都市合計で約~~300~~**140**メッシュとし、メッシュ当たり5地点計測されることとなるため、合計約~~1,500~~**700**地点程度を計測の対象とする。また、計測場所を選定する際には、上記を踏まえ、総務省が実証時に作成した計測地点選定ソフトを活用する。同ソフトの機能詳細等は、「インターネットのサービス品質計測等の在り方に関する研究会報告書 参考資料3」を参照すること。

2. その他、以下について更新・修正する。

- ・ 取組の進捗・結果等を踏まえた記載内容の現行化
（例：「検討を進める」としている記載を、取組結果を反映した記載に改める等）
- ・ 実質的な内容の変更を伴わない形式的又は技術的な修正

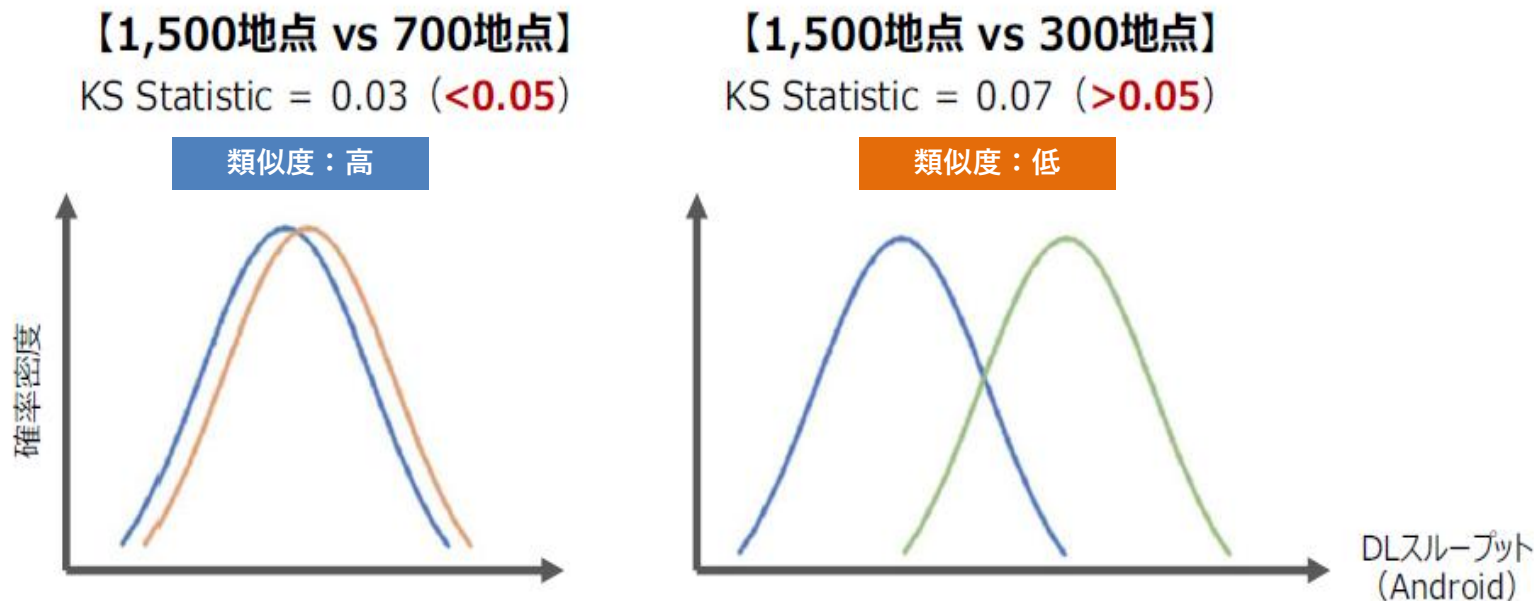
計測地点削減の検討

● 実効速度適正化委員会において、次の検討が行われた。

- 過去10年の計測データを用いて、地点数の削減によって計測結果がどの程度乖離するか、KS検定*にて検証した。
- 類似度を示す指標（KS Statistic）が0.05未満であれば、差分が小さく類似度が高いとされる。

*コルモゴロフスミルノフ検定：標本同士の類似度を評価する手法。産業において、製造工程における製品寸法のばらつき評価や品質適合検証などで一般的に用いられている。

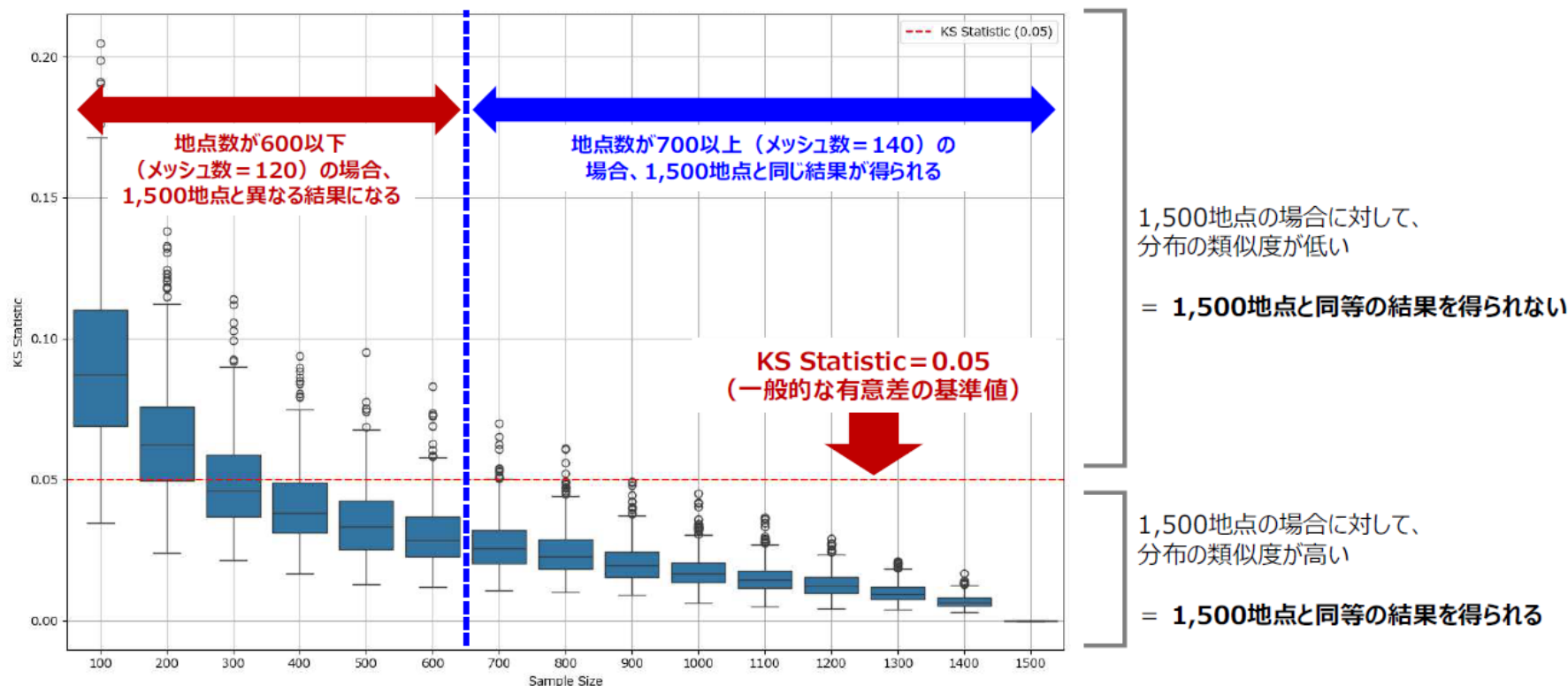
KS検定での検証イメージ



— : 1,500地点時の分布 — : 700地点時の分布（ランダム抽出の一例） — : 300地点時の分布（ランダム抽出の一例）

計測地点削減の検討

- 過去の各年度（2015年度～2025年度）のデータにおいて、計測地点数を700地点としても、1,500地点での計測結果と同等の結果が得られる。



将来の計測において、計測地点数を700地点に削減しても、1,500地点で計測した場合と同等の結果が得られると考えられる